

(b)14 ^{しょうるいひつじ} **生類憐みの令** 発布 (複数のお触れの総称) [図表P. 175⑤⑥]

仏教の慈悲の心にもとづき、1685年以降続々と出されが、次第に極端化し、悪法扱いされたという。
→しかし一方では戦国時代の荒々しい風潮を一扫し、社会問題化していた「かぶき者」(=異様な風体・振る舞いで、時として治安を乱す無頼の徒)や農村部に残る鉄砲などの取締りに効果を発揮したとその発令の狙いを再評価する動きもある。[さらにはP. 200③]

(c)学問の振興

* 儒学の振興…^{のぶあつ ほうこう} **林信篤(鳳岡)**を新設の15 ^{だいがくのあかし} **大学頭** に任じ、**湯島**に**聖堂学問所**を設置。

* 和歌の研究を担当する^{か がくかた} **歌学方**を新設 (初代歌学方に^{きたむら きざん} **北村季吟**)

* 天文観測・編暦を担当する^{てんぶんかた} **天文方**を新設 (初代天文方に16 ^{しづかわはる み} **渋川春海**)

(^{やすい きんてつ} **安井算哲**)

(d)朝廷関係の強化

* 禁裏御料を1万石加増→計3万石に。

* 朝廷儀式の復興 [P. 200②] →具体的には^{だいじょうさい} **大嘗祭** (即位後初の新嘗祭) や^{かもあひまつり} **賀茂葵祭**

②財政再建策

(^{ひつぱく} 財政逼迫の理由) [P. 201L. 1~]

* 鉱山 (金山・银山) 収入の減少

* 徳川家綱期に発生した17 ^{めいれき たいか} **明暦の大火** からの復興費用 [図表P. 174④A]

* 寺社造営費用 (護国寺、護持院、湯島聖堂、東大寺大仏殿、法隆寺、伊勢神宮などの造営・修復) など

☆ ^{かんじょうぎん みやく} **勘定吟味役** 18 ^{おぎわらしげひで} **荻原重秀** による^{かへいかいちゆう} **貨幣改鑄** [図表P. 175⑤⑥]

Q 1. 1601年に鑄造が開始され、江戸時代の基準貨幣となっていた金貨は何? A 1. ^{けいちよう こぼん} **慶長小判**

Q 2. 綱吉時代に大幅に^{ひんぐい} **品位** (金銀含有率) を下げて発行された金貨は何? A 2. ^{げんろく こぼん} **元禄小判**

→大量の改鑄差益 (=「^{でめ} 出目」) の発生 [年間50万両=年収の65%]

→当然貨幣価値の下落がまねく **物価騰貴 (物価高)** も発生し、人々の生活を圧迫。

◇ 1701年には19 ^{あこう} **赤穂事件** 発生→この事件を題材に1748年、「^{かなてほんちゆうしんぐら} 仮名手本 忠臣蔵」初演

〈「赤穂事件」の基礎知識〉 [図表P. 175中央]

* 江戸城中で、20 ^{あきの たくみのかみながのり} **浅野内匠頭長矩** が21 ^{ら こうすけのすけよしなか} **吉良上野介義央** を切りつけた。

┌(大名としては異例の) **即日切腹** ↑ ─ **お咎めなし**

翌年に元浅野家筆頭家老22 ^{おおいしくらのすけよしお} **大石内蔵助良雄** ら浪士47人が討ち入る。

※大石内蔵助らは逮捕され、切腹を命ぜられる。事件を題材に脚本『仮名手本忠臣蔵』が成立。

◇ 1707年には23 **富士山** が大噴火 (宝永の大噴火) し、東海地方に被害を与える。

[図表P. 175⑤⑥]

◇ 生類憐みの令に関してはプリントに記したように評価はさまざまに存在します。教科書 P. 200③にもある「服忌令」とともに庶民の心理に与えた影響は無視できないものがあったと考えられます。たとえば、革製品は江戸時代においても高価な人気商品で、当然革製品をつくるためには死んだ牛や馬の皮を処理する必要があります。綱吉政権の施策を通じて「生き物の命を大切に」あるいは『死』のあとは一定期間慎むべし」とする考え方が庶民にも浸透してくると、「**革製品**」は好む一方でその皮を動物から剥ぎ取る人々に対する嫌悪の意識が生まれてくることにもつながったようです。現在のわれわれも、肉は食べるし、革製品も使いますが、動物を殺して解体するという作業は他人に任せている人がほとんどですので、そうした考え方が生まれてくる要素というのは想像できるのではないのでしょうか。古墳時代に授業でも出てくる「穢れ」意識が日本文化の根底に存在することもあり、綱吉政権以降、差別の意識が強化されることにつながったともいわれます。

◇ 徳川綱吉は死に臨んで、生類憐みの令は続けるようにと言い残したともいわれますが、**6代将軍徳川家宣の代になるとそのほとんどは廃止**されることになりました。この後に政治を主導した朱子学者・新井白石は生類憐みの令を批判する文章を残しています。

◇ 私が阪神淡路大震災での死者6400人という数字を新聞で見たときは、現代において信じがたい巨大な数字と衝撃を受けました。**4代将軍徳川家綱の時に発生した「明暦の大火」** (図表 P. 174④A) の死者10万人以上というのはまさに想像を超えたものです。江戸時代に起こった火災・震災でそれに次ぐ数字が2万数千人ですから、**突出した被害者数**でした。

◇ **荻原重秀**は質の悪い貨幣をつくったということで「悪」のイメージでかつては語られていましたが、**貨幣の供給量を増やして好景気を演出した**という視点から、現実をよく知っていた財政担当者として**再評価**される場合が多くなりました。

◇ 図表にあるように、**赤穂事件**は浅野内匠頭による一方的な襲撃事件として綱吉は処理しました。一方、浅野の家臣はこれを二人の「喧嘩」ととらえ、なぜ「喧嘩両成敗」ではないのか、と憤りました。**武家諸法度の「忠孝」重視の風潮が、討ち入りを美談にする効果**にもつながったようです。40数年後に脚本家の**竹田出雲**らはこの事件を元に『**仮名手本忠臣蔵**』を創作、後世まで演じられることになりました。